

彙 報

研究活動等 (2019年1月～2019年12月) (学科別五十音順)

総合政策学科

石 山 宏

1. 著書・論文等

- (1) 「上野清貴著『収入支出観の会計思考と論理』(同文館出版)」(書評)『産業経理』第78巻(第4号), 2019年1月。
- (2) 『日本簿記学説の歴史探訪』(共著)創成社, 2019年3月。
- (3) 『会計学と租税法の現状と課題』(共著)税務経理協会, 2019年3月。
- (4) 『検定簿記講義/2級商業簿記<2019年度版>』(共著)中央経済社, 2019年3月。
- (5) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記<第5版>』(共著)中央経済社, 2019年3月。

2. 社会活動等

- (1) 山梨県出資法人経営検討委員会委員
- (2) 甲府市上下水道事業推進会議委員

大 西 康 雄

・研究ノート

- (単著)「「集合知」発想の源流としてアダム・スミス思想を読み直す
—根井雅弘著『アダム・スミスの影』の問題提起から出発して—」『山梨国際研究』14: 105-114, 2019. 3

熊 谷 隆 一

1. 報告書

- (1) 「山梨県立大学卒業生の就職状況の傾向と課題—国際政策学部を中心として—」(『山梨国際研究』山梨県立大学国際政策学部紀要第14号、2019年3月5日発行、pp. 121—134)

- (2) 「よつびし総研プレゼンツ 甲府! おもてなしBOOK6 & 2018年度よつびし総研活動報告書合併号」(四菱まちづくり総合研究室、2019年3月31日発行、編著)

2. その他

- (1) シンポジウムコーディネーター
第2回 山梨政策フォーラム「甲府市の地域公共交通の現状と課題」(山梨県立大学国際政策学部プロジェクト、2019年7月4日、山梨県立大学飯田キャンパス・サテライト教室)
- (2) 研究会講師
研究講師団会議講師「山梨の地域政治レポート—2019統一選後の県政を中心に」(公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター主催、2019年8月9日、神奈川県地域労働文化会館)
- (3) 社会的活動(アドバイザー)
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事(2007年4月14日～2019年3月31日)
- (4) 社会的活動(学会理事)
富士学会常務理事(2015年4月1日～、継続)
- (5) 社会的活動(学会評議員)
自治体学会企画部会員(地域選出)(2016年8月19日～、継続)
- (6) 社会的活動(研究員)
(独)神奈川県地方自治研究センター特別研究員(2005年4月～、継続)
- (7) 社会的活動(委員)
2019年度山梨映画等ロケ地活用推進委員会委員(甲府商工会議所、2019年6月～)
- (8) 特別研修
独逸ルール大学客員研究員(2019年9月～)

黒羽 雅子

1. 論文

単著「鈴木良作の経営思想と地方銀行中央機関設立構想 ―全国地方銀行協会の設立を巡って(その2)―」『山梨国際研究』No.14, 2019-03, pp23-35.

2. 学会発表等

単著「米国郵便貯金制度の導入と銀行家協会の対応」2019年度地方金融史研究会夏期合宿, 2019年8月30日, 於: 地方銀行研修所.

3. 社会活動(2019年12月末日現在)

- ① 山梨県総合評価委員(2016年4月～現在)
- ② 山梨県固定資産税評価委員(2015年9月～現在)
- ③ 明日の建設業を考える山梨会議委員長(2018年10月～現在)

4. 競争的資金の獲得

平成29年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般))「米国における銀行破綻処理手法の発展に果たした州法預金保険制度の歴史的意義」
(平成29～31年度)

Kevin C. Browne

・論文

単著「Gass and Varonis 1984 and considerations of comprehensibility and intelligibility」日本教育工学会第35回全国大会講演論文集、2019年1月(This paper examines the veracity of the claim that the landmark paper, Gass and Varonis, 1984, actually determined the impact of familiarity with different aspects of speech on comprehensibility, and presents a sound theoretical argument that what it revealed are insights into intelligibility.)

箕浦 一哉

1. 学会発表

- (1) 箕浦一哉「山村集落の音風景を考える: 山梨県笛吹市芦川町を事例として」日本サウンド

スケープ協会2019年度春季研究発表会、東京大学柏キャンパス(柏市)、2019年5月25日.

- (2) 箕浦一哉「音風景事業に参加した市民は何を感じたか: 「北播磨の音風景」の取り組みから」日本サウンドスケープ協会2019年度秋季研究発表会、山梨県立大学(甲府市)、2019年12月1日.

2. その他

- (1) 冊子『「移住して農業をはじめました」』(アカデミック・スキル演習成果物)、山梨県立大学国際政策学部環境社会学研究室編、2019年3月発行.
- (2) 講演「SDGsと環境市民活動」、甲府市地球温暖化対策地域協議会温暖化対策セミナー、会場: 山梨県立大学、2019年3月2日.
- (3) シンポジウムコーディネータ「足もとからSDGsを考える ―実践に向けて」、主催: やまなしグローバルフェスタ2019実行委員会、会場: 山梨県立図書館、2019年9月23日.

森田 玉雪

1. 論文・図書

- (1) Morita, Tamaki, and Shunsuke Managi (2019). "Causes of Social Dilemma: A Case of Autonomous Vehicles"『山梨国際研究: 山梨県立大学国際政策学部紀要』第14号、pp. 93-104.
- (2) 森田玉雪・馬奈木俊介(2019)「交通――自動運転技術の社会的ジレンマ」、山本勲編著『人工知能と経済』勁草書房、第5章、pp.161-204.

2. 学会報告

「自動運転自動車がもたらす社会的ジレンマ」、日本経済学会2019年春季大会、武蔵大学(2019年6月9日)

3. その他

- (1) 独立行政法人経済産業研究所「人工知能のマクロ・ミクロ経済動態に与える影響と諸課題への対応の分析」研究会メンバー
- (2) 山梨地方最低賃金審議会委員

国際コミュニケーション学科

安藤 勝 洋

1. 講演等

- (1) Review community-based tourism development in the combination with cultural heritage preservation and promotion in Vietnam and Hoi An, Hoi An Cultural Heritage - 20 years of preservation and orientation of sustainable development, 2019年12月
- (2) 持続性を見据えた地域住民の巻き込み方、JICA 草の根技術協力事業よりよい実施のための情報交換会、2019年11月

2. 社会的活動

- (1) 国際協力機構（JICA）草の根技術協力専門家「ヘリテージツーリズムによる辺境農漁村の生計多様化プロジェクト」、～2019年1月
- (2) 国際協力機構（JICA）、2018年度青年研修ベトナム「地域における観光振興」コース研修講師、2019年3月
- (3) 国際協力機構（JICA）、ベトナム国ハザン省観光開発に係る現地調査及びワークショップ講師、2019年8月
- (4) 国際協力機構（JICA）、2019年度NGO等向け研修会（コミュニティツーリズム&産品開発）研修講師、2019年9月
- (5) 大月短期大学2019年度県民コミュニティカレッジ「大月桃太郎伝説による“地域案内人”養成講座」、コーディネータ・講師、2019年7月～11月
- (6) 「峡東地域創生連携会議」委員（座長）、～2019年7月

伊藤 ゆかり

1. 論文

- (1) 単著（2019年3月）「歴史と演劇をつなぐ：ポーラ・ヴォーゲルの試み」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第14号、pp.1-10

2. その他

- (1) 教員免許状更新講習選択講座「英語教育強化に対応する英語指導力の向上を目指す講座」講師（2019年7月13日、於 山梨県立大学）

大村 梓

1. 著 書

- (1) 単著（2019年3月）、大村梓「詞華集としての西欧詩の訳詩集：堀口大學編訳『月下の一群』を中心に」、『山梨国際研究』、第14号、11-21頁
- (2) 単著（2019年7月）、大村梓「踊る小人」における語りと暴力性『第8回村上春樹国際シンポジウム予稿集』、41-48頁

2. 学会発表・講演等

- (1) 単独（2019年7月）、「踊る小人」における語りと暴力性、2019年度村上春樹国際学術検討会、北海道大学、札幌
- (2) 単独（2019年9月）、講演'Isolation from Japanese Literary World: Horiguchi Daigaku's Japanese Translation of Modern French Poetry', ストラスブール大学、ストラスブール、フランス
- (3) パネル発表（2019年10月）、大村梓、杉淵洋一、助川幸逸郎「内包される暴力表象－他者・異文化理解の側面から」、大村梓「エキゾチシズムに内在する暴力性：堀口大學と日本文壇」、日本近代文学会2019年度秋季大会、新潟大学、新潟

高野 美千代

1. 研究論文等

- ① 論文〔単著〕「ベンジャミン・キーチによる『悪魔との闘い』の出版と読者」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第14号、53-60頁、2019年3月
- ② 科研費研究報告書〔単編著〕、基盤研究B「ウィリアム・カムデンの系譜におけるブリティッシュアイデンティティの探求と成立」（活動報告1）、2019年3月

- ③ 論文〔共著〕Graham Parry and Michiyo Takano (2019) “The illustrations to Dugdale's *History of St Paul's Cathedral: subscribers and their sentiments*,” *The Seventeenth Century*, DOI: 10. 1080/0268117X.2019.1621486

2. 研究発表・報告等

- ① 〔共同〕「英国書物文化講座」科研費成果公開事業・17世紀英国のプリントカルチャー～イギリス文化を知る学術イベント（2019年7月、於甲府市藤村記念館）
- ② 〔単独〕“Bunyan's *Pilgrim's Progress* in Japan” 科研費講演会・Puritanism and Print in Seventeenth-Century England（2019年10月、於山梨県立大学）

3. 地域貢献・各種講演会企画運営等

- ① 教員免許更新講習選択科目小中教諭対象英語科運営担当（2019年7月、於山梨県立大学）
- ② 国際政策学部英語特別講演会企画運営 第1回講師：アンガス・ヴァイン先生（英国スターリング大学） 第2回講師：ジョージ・サウスコム先生（英国オックスフォード大学） 第3回講師：ニール・キーブル先生（英国スターリング大学）

4. 外部資金による研究活動

- ① 新規採択 科研費挑戦的研究（萌芽）研究代表者、2019年度～2021年度予定
課題名：「近世英国と日本における書物文化の偶発的パラレリズム研究」
- ② 科研費による共同研究事業・特別講演会
国内外より研究者を招聘し、東北大学および山梨県立大学において2019年5月、7月、10月に開催

張 兵

1. 論文

- (1) 「日本海洋観光の現状と展望」（中国語、査読付）、単著、中国海洋大学『海大日本研究』第6輯、中国海洋大学出版社2018年4月（2019年11月発行）

2. 書 評

- (1) 「新保敦子著『日本占領下の中国穆斯林－華北および蒙疆における民族政策と女子教育』」アジア政経学会『アジア研究』第65巻第3号2019年7月
- (2) 「桜美林大学・北京大学学術交流論集編集委員会編『日中新時代の基本的視座－教育・環境・文化から』」中国研究所『中国研究月報』2019年11月号

3. 学会発表

- (1) 「中国人海外旅行者の急増とそのアジア諸国への影響」アジア政経学会2019年春季大会2019年6月9日慶應義塾大学
- (2) 「隣国国民の相互理解を深める道について」「ワンアジア財団」助成事業国際シンポジウム「アジア共同体の構築について」2019年6月22日山梨学院大学
- (3) 「訪日中国人の訪問地選好傾向についての一考察」中国経済経営学会2019年春季研究集会2019年6月30日東京外国語大学

4. 社会貢献

- (1) NPO法人山梨県中国語・国際交流会副理事長（2019年度）
- (2) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事（2019年度）
- (3) 日中関係学会宮本賞推薦委員（2019年度）
- (4) 日本華人教授会議会員（2019年度）
- (5) 第47回「日本の書展」入選（2019年6月13～23日国立新美術館）
- (6) 第1回日中観光代表者フォーラム（2019年12月4日～6日北杜市）通訳

名 和 敏 光

【表彰等】

1. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2017年5月～現在。
2. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2017年5月～現在。
3. 早稲田大学文学学術院博士学位請求論文公開審査会委員（主査：工藤元男早稲田大学教授）として小倉聖「中国古代における刑徳理

論の展開」の博士学位請求論文を審査（早稲田大学戸山キャンパス39号館4階第4会議室）、2019年11月30日。

4. 南昌大学国学院から中国教育部に長江学者・講座教授として推薦される、2019年12月3日。

【著 書】

1. 編著：名和敏光編『東アジア思想・文化の基層構造——術数と『天地瑞祥志』——』、汲古書院、2019年3月、304頁。
2. 共著：水上雅晴主編『年号と東アジア—改元の思想と文化—』、八木書店、2019年4月、706頁・附録61頁。

【学術論文】全て単著

1. 名和敏光「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之六》、《策（二）》、《五行禁日》綴合校釋（再修訂版）」、『出土文獻研究』第17輯、中西書局、2018年12月、223～234頁、査読有、中国語。
2. 名和敏光「『後法興院記』所収勘文の佚文資料研究」、名和敏光編『東アジア思想・文化の基層構造——術数と『天地瑞祥志』——』、汲古書院、2019年3月、単著、105～128頁、査読無、日本語。
3. 名和敏光「京都大学人文科学研究所所蔵『天地瑞祥志』第二十（後半）翻刻・校注」、名和敏光編『東アジア思想・文化の基層構造——術数と『天地瑞祥志』——』、汲古書院、2019年3月、225～290頁、査読無、日本語。
4. 名和敏光「中国出土資料紀年考」、水上雅晴主編『年号と東アジア—改元の思想と文化—』、八木書店、2019年4月、121～134頁、査読無、日本語。
5. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《徒》、《天地》、《女發》、《雜占之二》綴合校釋（修訂版）」、『出土文獻綜合研究集刊』第8輯、巴蜀書社、2019年4月、160～172頁、査読有、中国語。
6. 名和敏光「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之七》綴合校釋（修訂版）」、『上古漢語研究』第3輯、北京：商務印書館、2019年6月、149～157頁、査読有、中国語。

7. 名和敏光「“諾皋”考（修訂版）」、『出土文獻語言研究』第3輯、2019年6月、21～24頁、査読有、中国語。

8. 名和敏光「出土資料所見呪語與傳世文獻的諸相」、『中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇論文集』、成都中醫藥大學、2019年6月、1～9頁、査読有、中国語。
9. 名和敏光「古記録所見の勘文と『天地瑞祥志』佚文（資料編）」、『“從中古到近代写本文化与跨文化交流”國際學術研討会會議論文集』、北京大学、2019年8月、137～171頁、査読有、中国語。
10. 名和敏光「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋上（修訂版）」、『出土文獻與中國經學、古史研究國際學術研討会會議論文集』、台灣：高文出版社、2019年9月、294～308頁、査読有、中国語。
11. 名和敏光「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之二》《上朔》及《祭》（一）綴合校釋」、『世界漢字学会第七屆年會會議論文集』、2019年9月、109～124頁、査読有、中国語。

【学会報告・招待講演】全て単独

1. 名和敏光「嶽麓書院秦簡第六卷釋文審訂研究」、嶽麓書院秦簡釋文審訂會（於湖南大學嶽麓書院）、2019年1月5日。
2. 名和敏光「古記録所見の勘文と『天地瑞祥志』佚文」、京都大学人文科学研究所東京ミーティング2019（於大東文化大学大東文化会館）、2019年3月10日。
3. 名和敏光「出土資料所見呪語與傳世文獻的諸相」、中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇（於四川中醫藥大學）、2019年6月23日。
4. 名和敏光「古記録所見の勘文と『天地瑞祥志』佚文（資料編）」、「“從中古到近代写本文化与跨文化交流”國際學術研討会、2019年8月25日、於北京大学、學術報告。
5. 名和敏光「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之二》《上朔》及《祭》（一）綴合校釋」世界漢字学会第七屆年會、於立命館大學、2019年9月27日。

【獲得資金】

1. 研究代表者、日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C）、研究課題番号：19K00057、研究協力者：武田時昌（京都大学教授）、末永高康（広島大学教授）、総額：4,420千円）、「最新出土資料による陰陽五行思想の総合的研究」、2019年4月～2022年3月。（新規） <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-19K00057/> 参照。

【国際学会参加等】

1. 嶽麓書院秦簡釋文審訂會、2019年1月4日～10日、於湖南大学嶽麓書院、学術報告。
2. 京都大学人文科学研究所東京ミーティング 2019、2019年3月10日、於大東文化大学大東文化会館。
3. 中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇、2019年6月21日～25日、於四川中医薬大学、学術報告。
4. 中国古印研究国際シンポジウム 2019 in 岩手、2019年4月21日、於岩手大学総合教育研究棟（教育系）北桐ホール。
5. “從中古到近代写本文化与跨文化交流” 国際学術研討会、2019年8月24～25日、於北京大学、学術報告。
6. 世界漢字学会第七屆年會、2019年9月26日～30日、於立命館大学、学術報告。
7. 国際シンポジウム“緯書と漢代經学”、2019年12月14～15日、於京都大学、司会。

【学会役員・その他】

1. 中国出土資料學會理事、2016年4月～現在。
2. 日本道教学会評議員、2014年1月～現在。
3. 東京大学東洋文化研究所研究班「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 参照。
4. 京都大学人文科学研究所共同研究班「東西知識交流と自国化—汎アジア科学文化論」研究員、班長：武田時昌（京都大学人文科学研究所教授）、2017年4月～2019年3月。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kyodokenkyu/tozaichishikikoryu.htm> 参照。

5. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2017年5月～現在。
6. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2017年5月～現在。

二戸麻砂彦

1. 著 作

- (1) 単著「前田本色葉字類抄の徳声について」（山梨県立大学国際政策学部紀要「山梨国際研究」第14号、2019年03月）

萩原孝恵

1. 研究発表

- ・萩原孝恵、池谷清美（2019）「ベトナム人学習者と日本語母語話者—日本語フィラーの使用法の比較から—」言語文化教育研究国際研究集会@タンロン大学、2019. 12. 07（科研JP19K00580）
- ・西部由佳、岩佐詩子、金庭久美子、奥村圭子、坂井菜緒、萩原孝恵（2019）「日本語インタビューテストにみられる『くり返し』の使用とレベル別特徴」第28回小出記念日本語教育委研究会@国際基督教大学、2019. 06. 29（日本語OPI研究会プロジェクト）

2. 実践発表

- ・原田かおり、小林信子、萩原孝恵（2019）「出会い・気づき・学び、そしてそれぞれの変容—高校進学ガイダンス開催がもたらした二次的意義—」子どもの日本語教育研究会第4回研究会@東京都港区筈小学校、2019. 10. 12（山梨県立大学地域研究交流センター研究課題）

3. 研究助成

- ・科学研究費補助金基盤研究（C）（一般）19K00580「言語文化に起因する価値観とフェイスが表出する『舌打ち』と『笑い』の実証的研究」2019-2023（研究代表者）
- ・日本語OPI研究会研究班「よりよいコミュニ

ケーションのための相槌や受け答えー日本語OPIにおけるレベル別使用状況ー」2018-2020（共同研究）

- ・山梨県立大学地域研究交流センター研究課題「日本語指導が必要な外国人児童生徒のライフチャンスー高校進学から卒業までの支援体制構築に向けてー」2019-2020（研究代表者）

4. 研究員

- ・国立国語研究所共同研究プロジェクト共同研究員（2019.04-2020.03）

5. 講演

- ・北杜市教育委員会 2019年度社会教育講座講師「文化を知ればもっとわかりあえる」長坂町農村環境改善センター、2019.07.06

6. 社会貢献

- ・やまなし外国人材受入・共生ネットワーク会議委員
- ・山梨県大規模小売店舗立地審議会委員
- ・甲府市多文化共生推進委員会委員